

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

2025年11月6日

アドソル日進株式会社 (東証プライム 3837)



CONTENTS

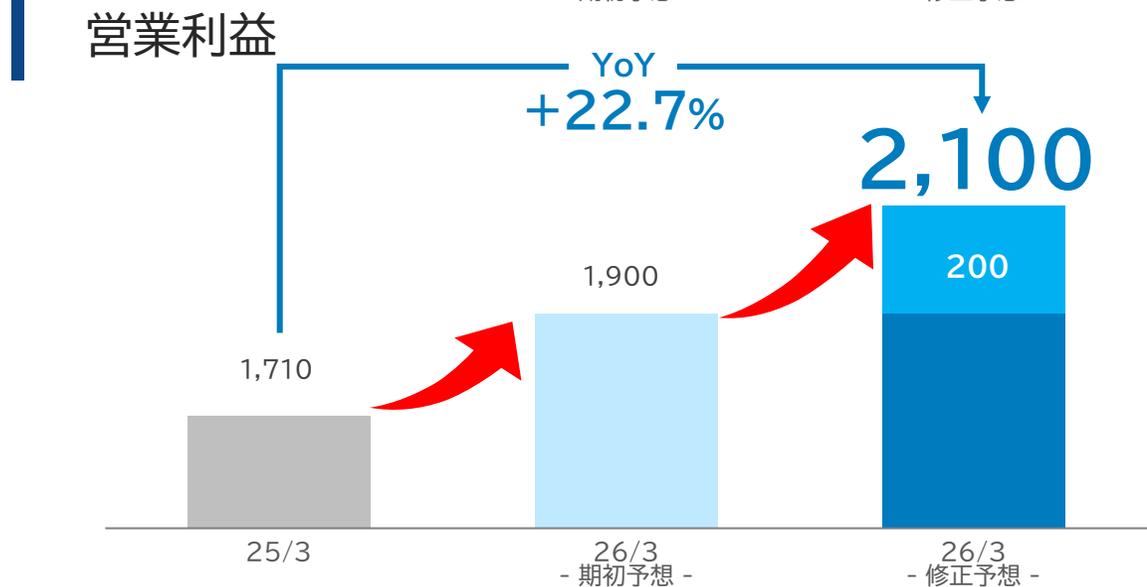
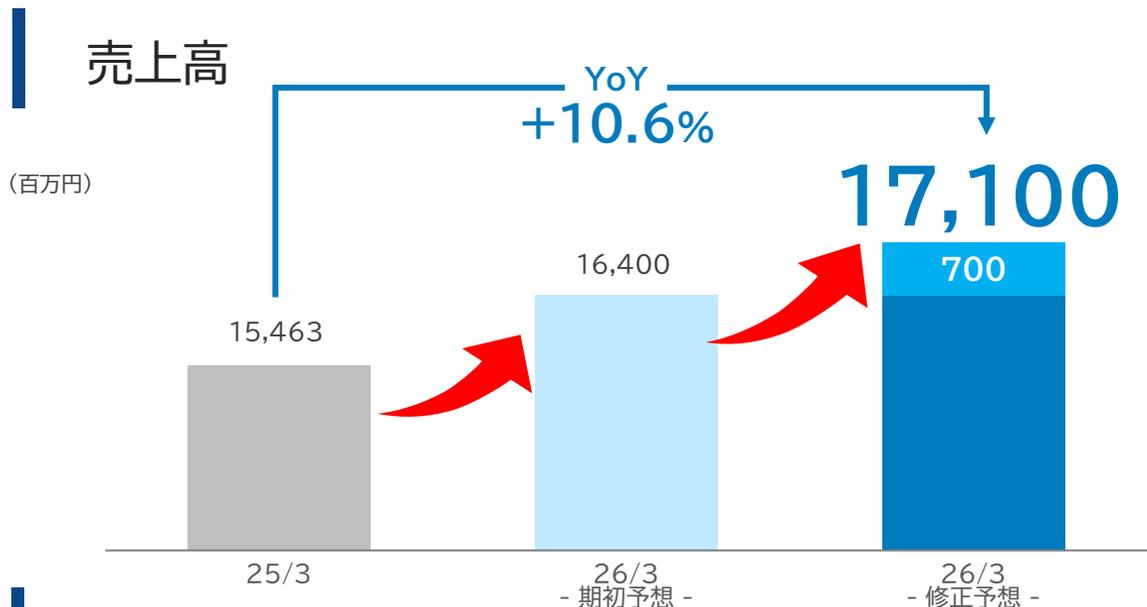
1. 業績ハイライト
2. 2026年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績
3. 2026年3月期 成長戦略の進捗
4. 2026年3月期 業績予想・配当予想

01

業績ハイライト

- 2026年3月期 通期業績予想 上方修正
- 2026年3月期 第2四半期(中間期) 業績ポイント
- さらなる飛躍へ
- 2026年3月期 期末配当予想 修正 (増配)

通期業績予想を上方修正



【社会インフラ】

- ・ エネルギー(電力)の好調が継続
- ・ 交通・運輸、公共(安全保障)が堅調

【先進インダストリー】

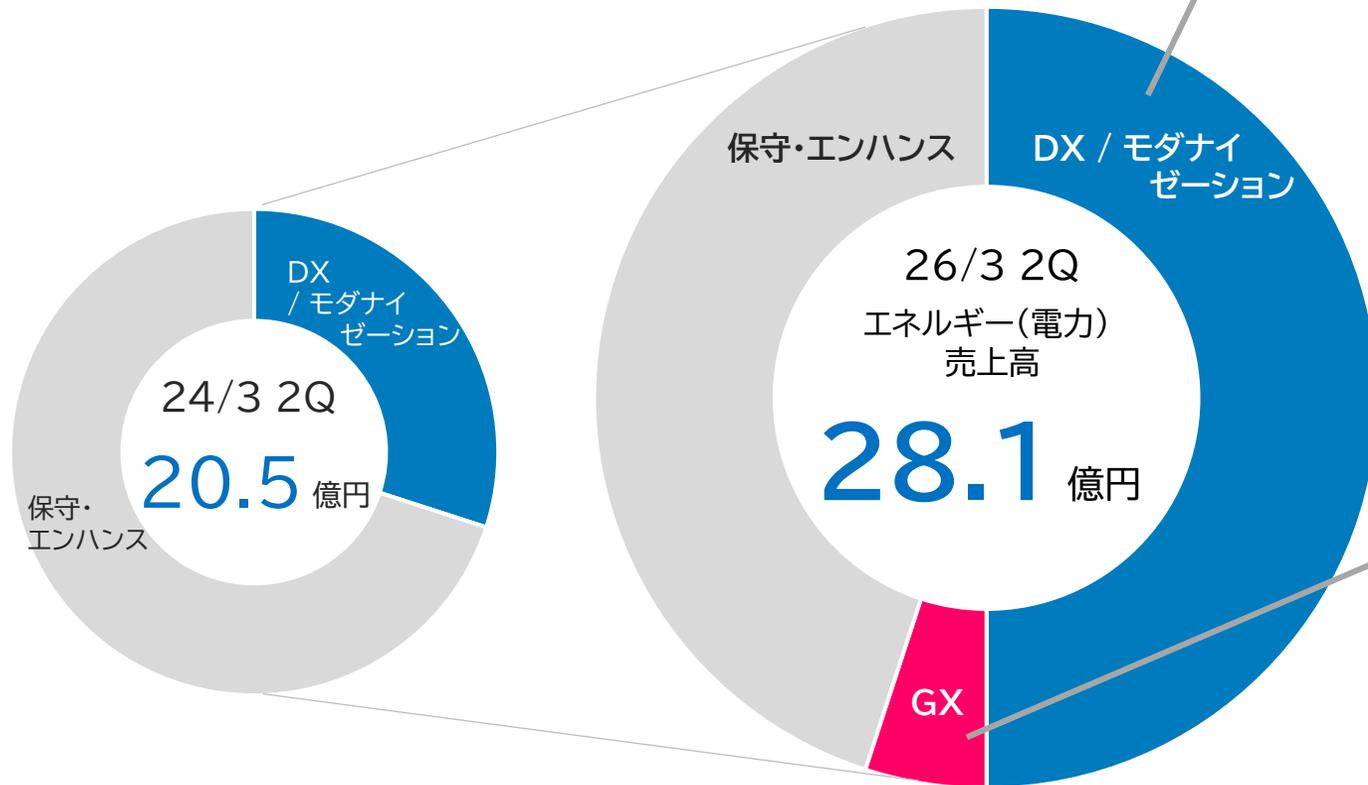
- ・ サービス(決済・カード)向けDX案件(データマネジメント関連)が拡大

【利益】

- ・ 単価アップ、コンサルティング等の高収益案件の増加などにより、売上総利益率が良化(25/3 2Q 28.8% → 26/3 2Q 29.8%)
- ・ 処遇改定(3期連続・全社員対象)、新卒採用活動、新入社員研修等による販売管理費の増加を吸収

ワンストップサービス拡大 & 受注案件が多様化

● エネルギー(電力領域) 案件の内訳 ※中計初年度との比較、割合は概算



POINT **01** ベースロード

DX / モダナイゼーション案件が伸長

- ・ DX / モダナイゼーションの大型案件が複数継続
 - 次世代スマートメーター
 - 送配電設備関連システムの刷新 等
- ・ 当社の強みであるIoTやGISを活用した提案も強化

POINT **02** 成長事業

GX※(次世代エネルギー)案件が進捗

- ・ 複数の電力会社で再生可能エネルギー関連システムを受注・対応中

※ GX: Green Transformation

次世代SIビジネスモデルの確立へー 着実に前進

コンサルティング



コンサルタント育成が計画通り進捗
注力領域でオフリング提案強化

>> P.19~20

LeapX リープクロス



導入件数が順調に拡大
アジャイル市場のさらなる開拓へ

>> P.21~22

AI



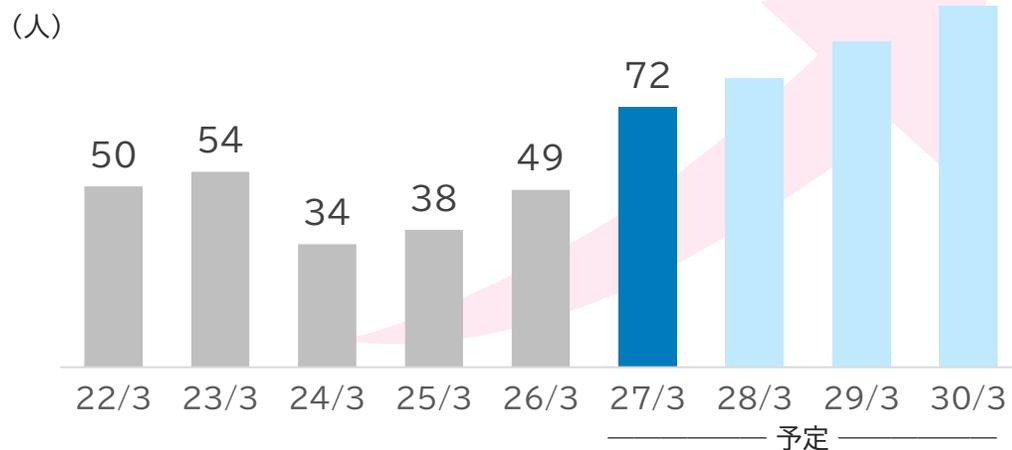
AIビジネス拡大へ
ナレッジを結集した新サービス発表

>> P.23~26

採用・育成計画 計画通り進捗

内定式に、採用目標を上回る **72名** が参加

● 新入社員数の推移（各4月時点）



内定者 出身大学

- 【国立】 北海道、岩手、東北、埼玉、千葉、東京、東京農工、電気通信、東京科学、横浜国立、静岡、滋賀、京都、大阪、奈良女子、和歌山、鳥取、岡山、山口、香川、九州、佐賀、熊本
- 【公立】 青森公立、会津、東京都立、広島市立、北九州市立、熊本県立
- 【私立】 青山学院、学習院、駒澤、東京都市、芝浦工業、上智、中央、東京女子、日本、日本女子、法政、明治、立教、早稲田、国際基督教、津田塾、南山、同志社、立命館、関西、関西学院、福岡

成長加速に向け、内定者研修を実施

— 主な研修内容（e-learning）

IT基礎知識 	プログラミング 	ビジネススキル
------------	-------------	-------------

女性活躍推進の取組み

子育てサポート企業として
くるみん認定 を初取得

<主な取組み>

- 在宅勤務（テレワーク）制度
- 時差勤務制度
- 短時間勤務制度
- ワーキングペアレンツ支援金支給制度 等



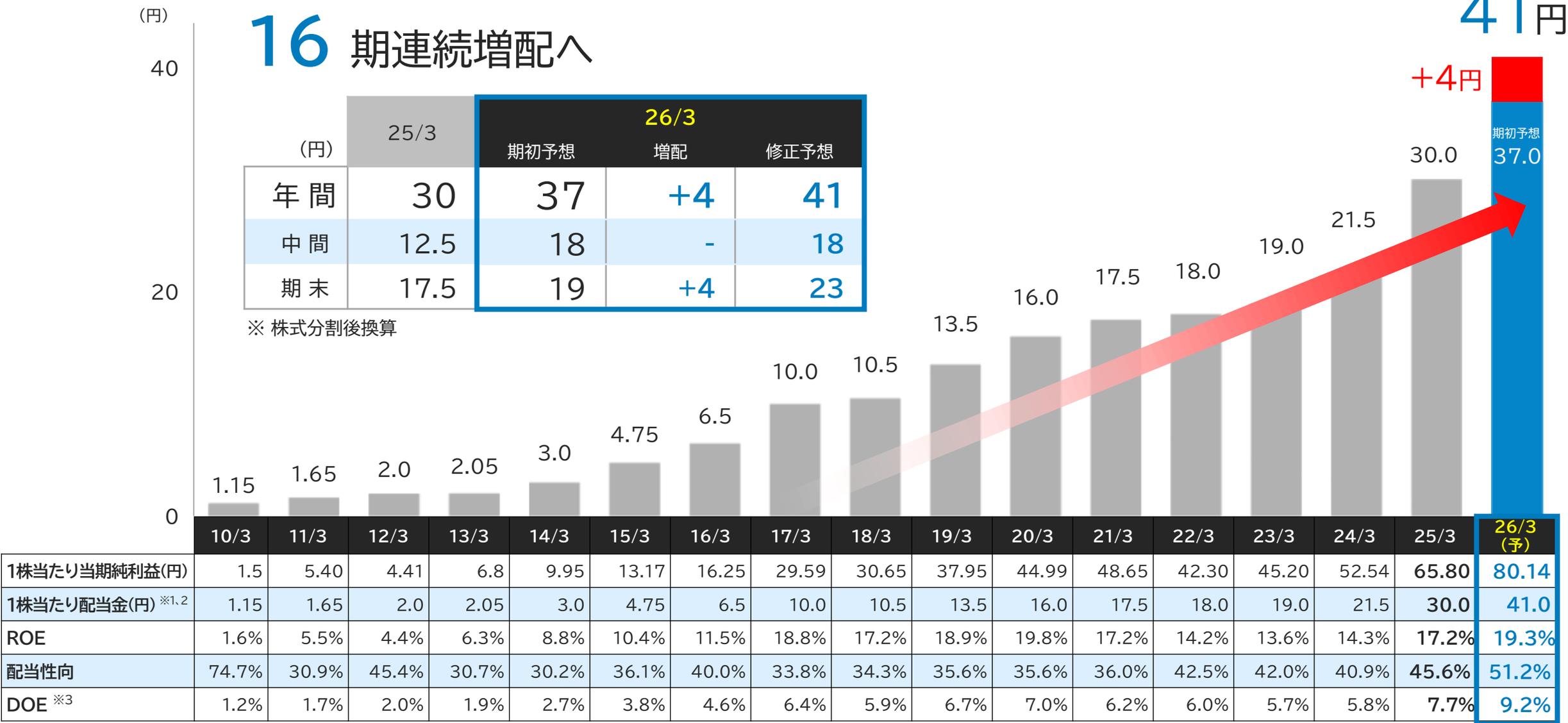
2026年3月期 期末配当予想 修正 (増配)

41円

16 期連続増配へ

(円)	25/3	26/3		
		期初予想	増配	修正予想
年間	30	37	+4	41
中間	12.5	18	-	18
期末	17.5	19	+4	23

※ 株式分割後換算



	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3 (予)
1株当たり当期純利益(円)	1.5	5.40	4.41	6.8	9.95	13.17	16.25	29.59	30.65	37.95	44.99	48.65	42.30	45.20	52.54	65.80	80.14
1株当たり配当金(円) ※1,2	1.15	1.65	2.0	2.05	3.0	4.75	6.5	10.0	10.5	13.5	16.0	17.5	18.0	19.0	21.5	30.0	41.0
ROE	1.6%	5.5%	4.4%	6.3%	8.8%	10.4%	11.5%	18.8%	17.2%	18.9%	19.8%	17.2%	14.2%	13.6%	14.3%	17.2%	19.3%
配当性向	74.7%	30.9%	45.4%	30.7%	30.2%	36.1%	40.0%	33.8%	34.3%	35.6%	35.6%	36.0%	42.5%	42.0%	40.9%	45.6%	51.2%
DOE ※3	1.2%	1.7%	2.0%	1.9%	2.7%	3.8%	4.6%	6.4%	5.9%	6.7%	7.0%	6.2%	6.0%	5.7%	5.8%	7.7%	9.2%

※1 1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金は、株式分割を考慮した額を記載しています (2014年1月1日に1株につき3株、2016年10月1日に1株につき2株、2025年4月1日に1株につき2株の株式分割を実施)。

※2 DOE(自己資本配当率) = 配当性向 × ROE

02

2026年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績

- 損益計算書
- セグメント別業績
- 四半期推移
- 経常利益の分析
- 貸借対照表
- キャッシュ・フロー計算書

2026年3月期 第2四半期(中間期) 損益計算書

(単位:百万円)	25/3 2Q	26/3 2Q		
	実績	実績	増減額	増減率(%)
売上高	7,651	8,506	855	11.2
社会インフラ事業	4,839	5,490	650	13.4
先進インダストリー事業	2,811	3,016	205	7.3
うち、ソリューション事業	622	596	△26	△4.3
売上総利益	2,201	2,536	334	15.2
売上総利益率(%)	28.8	29.8	-	-
販売管理費	1,321	1,432	111	8.4
販売管理費率(%)	17.3	16.8	-	-
営業利益	879	1,103	223	25.4
営業利益率(%)	11.5	13.0	-	-
経常利益	906	1,136	230	25.4
経常利益率(%)	11.8	13.4	-	-
中間純利益	596	750	154	25.8
中間純利益率(%)	7.8	8.8	-	-

POINT

売上高

過去最高売上高を更新

顧客の旺盛なICT投資ニーズが継続。社会インフラ事業のエネルギー(電力)、交通・運輸、公共分野、先進インダストリー事業のサービス分野が成長を牽引

売上総利益

売上総利益率の良化が継続

単価アップに加えて、コンサルティング等の高収益案件が増加

営業利益

営業利益・率ともに過去最高

処遇改定(3期連続・全社員対象)、新卒採用活動、新入社員研修等を中心とした販売管理費の増加を、売上総利益率の良化が吸収

2026年3月期 第2四半期(中間期) セグメント別業績 (売上高)

(単位:百万円)	25/3 2Q		26/3 2Q			
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額	増減率(%)
全社	7,651	100.0	8,506	100.0	855	11.2
社会インフラ事業	4,839	63.3	5,490	64.5	650	13.4
エネルギー	3,747	49.0	4,065	47.8	318	8.5
交通・運輸	367	4.8	628	7.4	260	71.0
公共	482	6.3	614	7.2	132	27.4
通信・ネットワーク	242	3.2	181	2.1	△61	△25.2
先進インダストリー事業	2,811	36.7	3,016	35.5	205	7.3
製造	787	10.3	687	8.1	△100	△12.7
サービス	1,477	19.3	1,806	21.2	329	22.3
エンタープライズ	546	7.1	522	6.1	△23	△4.4
うち、ソリューション事業	622	8.1	596	7.0	△26	△4.3

POINT

社会インフラ事業

DX・モダナイゼーション案件好調

- 【エネルギー(電力・ガス)】
 - 電力領域 好調
 - DX・モダナイゼーションの大型案件が継続
 - ・次世代スマートメーター
 - ・送配電設備関連システム
 - ・再エネ関連システム など

- 【交通・運輸】
 - 鉄道関連システムが大きく拡大

- 【公共】
 - 安全保障関連システムが堅調に推移

先進インダストリー事業

DX・データマネジメント案件が拡大

- 【サービス(決済・カード)】
 - クレジットカード会社向け
 - DX案件(データマネジメント)が好調に推移
 - 決済代行事業者向けに、データ分析基盤の構築及び「AgileLeap」を活用した決済システムの再構築対応

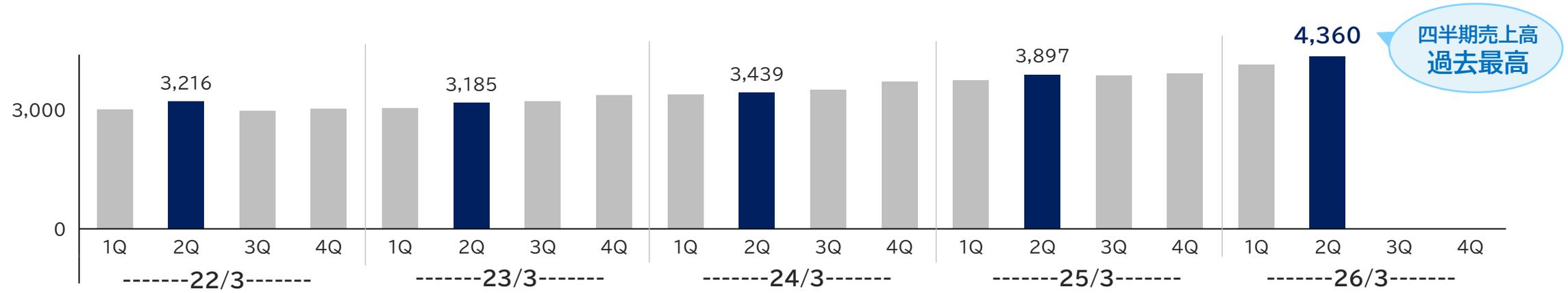
2026年3月期 第2四半期(中間期) セグメント別業績 (受注高・受注残高)

好調なDX案件にビジネスを集中した結果、受注高・受注残高ともに第2四半期として過去最高を更新

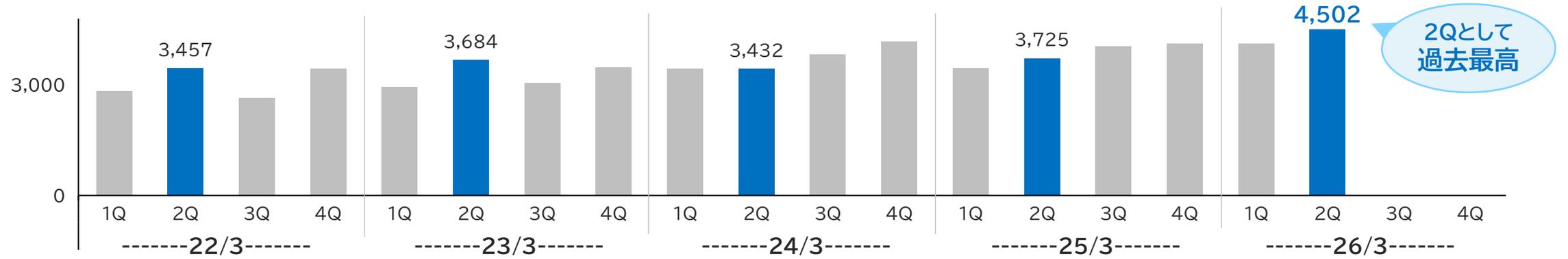
	受注高				受注残高			
	25/3 2Q 実績	26/3 2Q 実績	増減額	増減率(%)	25/3 2Q 実績	26/3 2Q 実績	増減額	増減率(%)
全社	7,183	8,631	1,447	20.2	2,866	3,373	506	17.7
社会インフラ事業	4,388	5,582	1,194	27.2	1,763	2,217	454	25.8
エネルギー	3,378	4,074	695	20.6	1,434	1,783	349	24.3
交通・運輸	379	693	313	82.6	107	195	88	82.2
公共	433	642	208	48.2	178	185	6	3.6
通信・ネットワーク	196	172	△23	△12.2	42	53	11	26.1
先進インダストリー事業	2,795	3,048	253	9.1	1,103	1,155	51	4.7
製造	760	684	△75	△10.0	253	203	△50	△20.0
サービス	1,508	1,882	373	24.8	730	798	68	9.3
エンタープライズ	526	482	△44	△8.5	119	153	34	28.8

四半期推移 (売上高・受注高・受注残高)

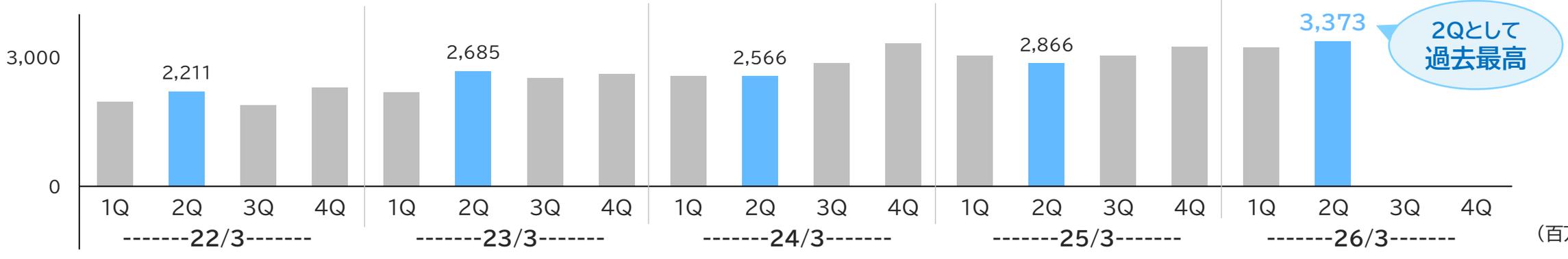
売上高



受注高



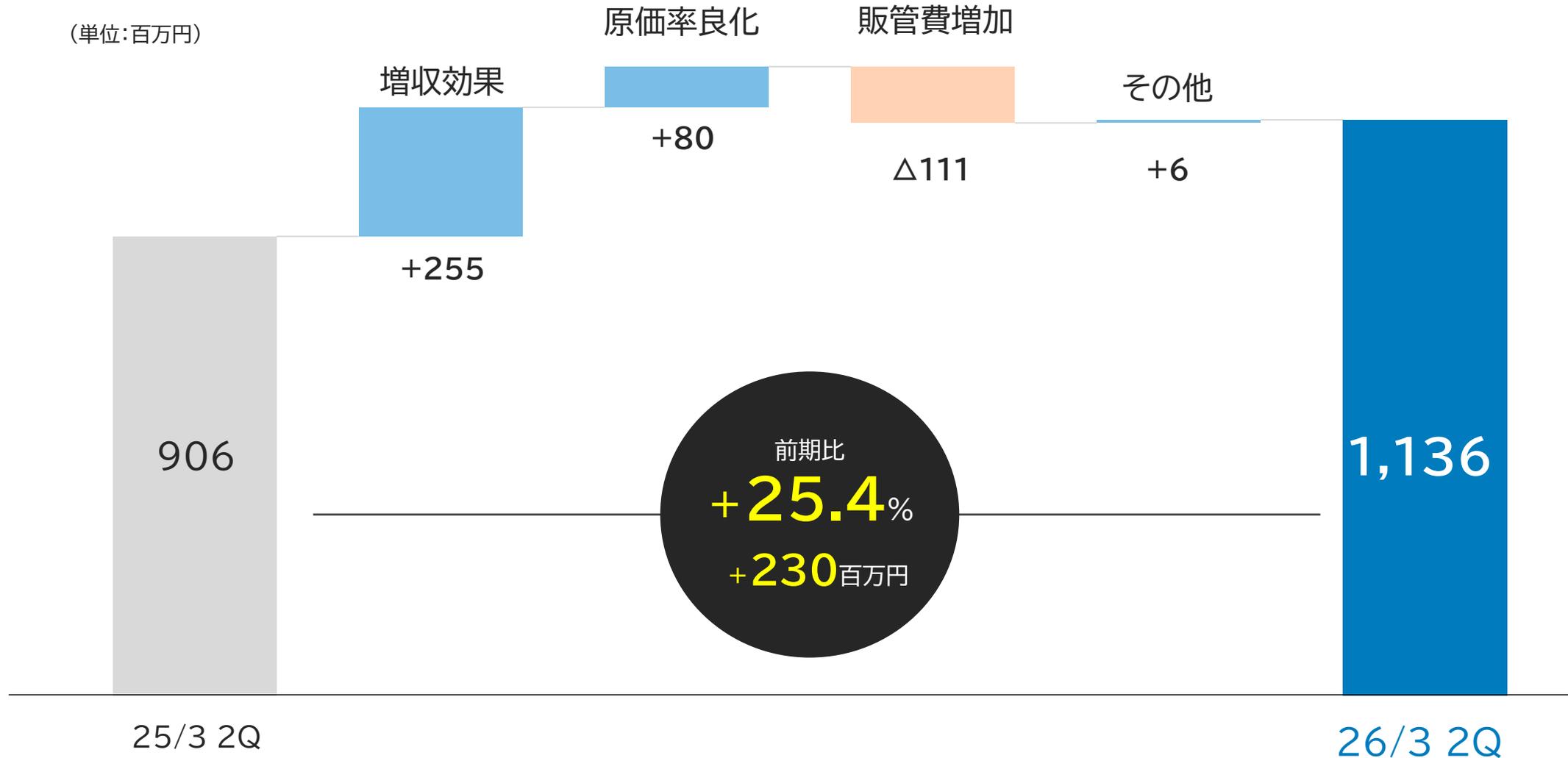
受注残高



(百万円)

2026年3月期 第2四半期(中間期) 経常利益 増減分析

増収効果と原価率の良化が販売管理費の増加(処遇改定、新卒採用活動、新入社員研修等)を吸収し、増益で着地

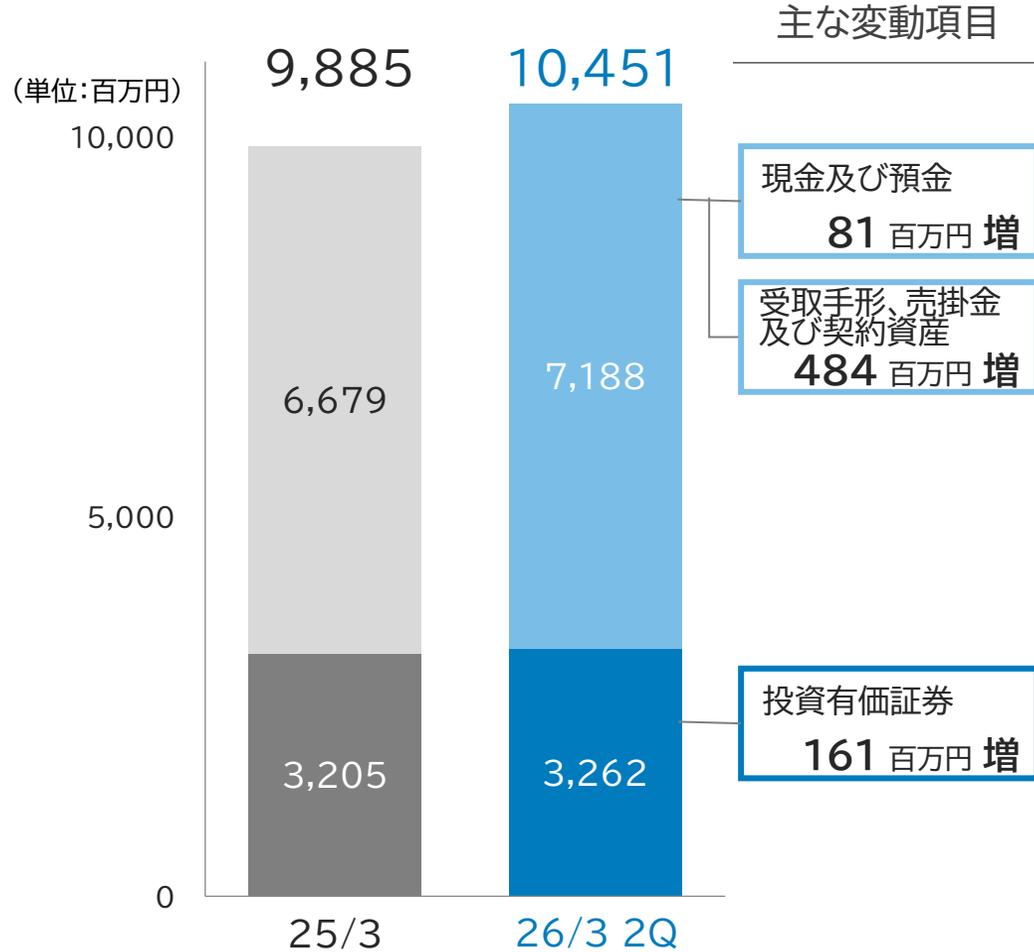


2026年3月期 第2四半期(中間期) 貸借対照表

資産

・ 総資産 **104**億円

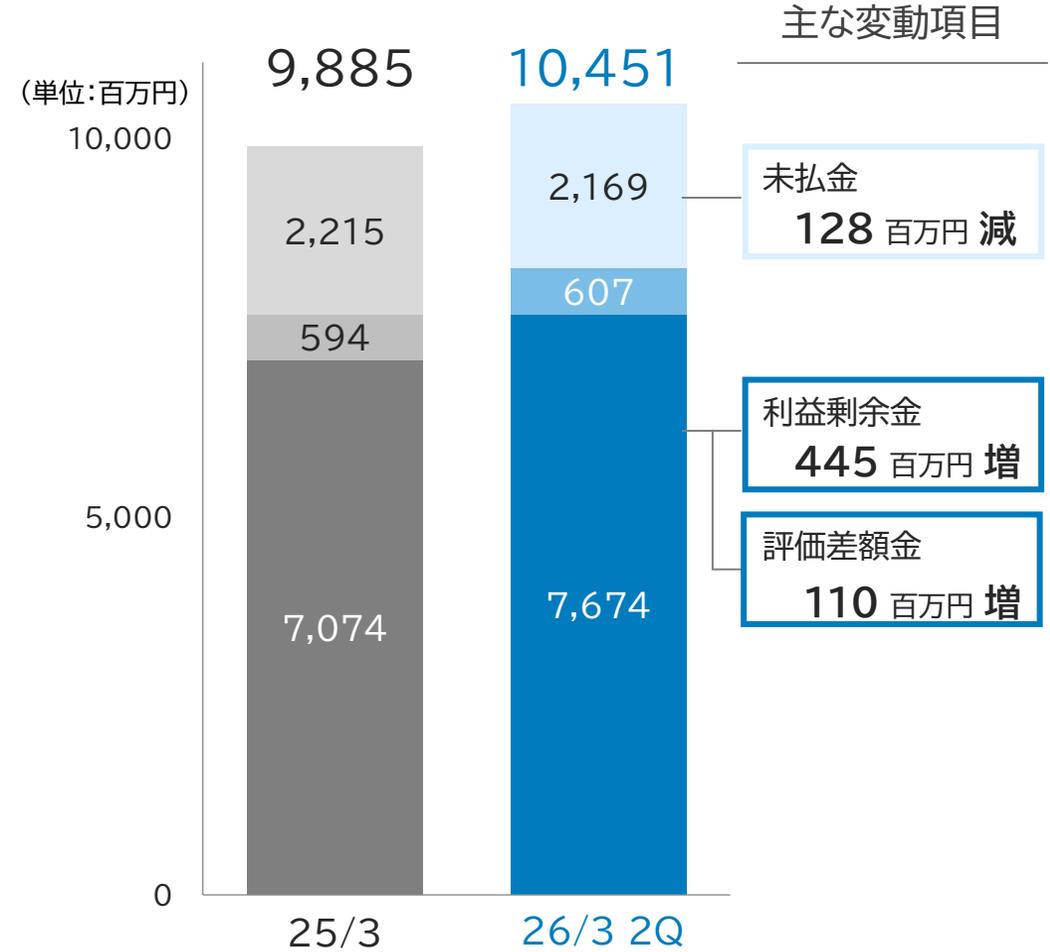
■ 流動資産 ■ 固定資産



負債・純資産

・ 自己資本比率 **71.4%**

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



2026年3月期 第2四半期(中間期) キャッシュ・フロー計算書

	25/3 2Q	26/3 2Q	主な変動要因	
営業活動によるCF	△72	394	税金等調整前中間純利益	1,136
			売上債権の増減額(△は増加)	△482
			未払金の増減額(△は減少)	△126
			未払消費税等の増減額(△は減少)	△115
			法人税等の支払額	△320
投資活動によるCF	△103	△6		
財務活動によるCF	△404	△305	配当金の支払額	△304
現金及び現金同等物の 期末残高	3,180	2,969		

03

2026年3月期 成長戦略の進捗

- 2026年3月期 注力ポイント
- 次世代SIビジネスモデルの確立へ

成長事業へのシフトに向けた 次世代SIビジネスモデルの確立へ



1
コンサルティング

上流工程拡大に向けた
コンサルタント育成の強化



2
アジャイル開発

アジャイルリープ
AgileLeap
サービス・展開強化



3
データ利活用

データサイエンティスト育成による
データ利活用ビジネス拡大へ



4
AI

高度AI人材育成を加速、
「AIのアドソル」へ



5
開発体制

グローバル開発体制、
パートナー連携強化

コンサルタント育成を継続、注力領域でのコンサル案件拡大へ

コンサルタント育成

顧客課題分析

オファリング提案

受注・ビジネス拡大へ

2025年3月期 育成実績

上級コンサルタント

13名

コンサルタント

45名

(シニアコンサルタント研修中)

注力領域

THEME
01

地図を活用したDX

-地理情報システム-

GIS

中核ソリューション



DOCOWA



mapbox

ArcGIS

Google マップ 他

THEME
02

企業変革ソリューション

-リープクロス-

LeapX

中核ソリューション



アジャイルリープ
AgileLeap



クラウドリープ
CloudLeap



ディーディーリープ
DXDLeap

THEME
03

AI活用に安心と信頼を

-AIコンサルティング
&エンジニアリング-

AI

中核ソリューション



+Aldea

2025年10月
提供開始

+

2026年3月期 育成方針

コンサルタント

50名育成中

(注) Mapboxは、Mapbox, Inc.、Arc GISはEsri社、GoogleマップはGoogle社の登録商標です。

スマートシティの実現に向けてー GISコンサルティング・ソリューション提案が拡大

エネルギー(電力領域)向け

GIS -地理情報システム- コンサルティングが伸展

多様な地図プラットフォームの導入知見に基づき、
ツール選定からデータ最適化、運用効率化まで伴走。
地図の最適化による自動化・省人化を支援

コンサル事例

- CASE 01 設備保全DX**
発電所の日々のメンテナンス業務の省力化

- CASE 02 レガシーGIS基盤再構築 & DX**
レガシーシステムの更新及びDX対応

- CASE 03 検査員の最適マッチングDX**
スキルレベルに応じたマッチングによる検査品質の向上

AI機能搭載・SaaS型商圈分析ソリューション



提案リクエスト件数(累計)

100 件突破

メディア掲載も多数

Newsweek (国際版) 2025年9月19日号

Mapping Tomorrow's Cities

Ad-Sol Nissin uses GIS solutions to drive smart cities. By Daniel de Bamford



Toshiaki Shinozaki, President, Ad-Sol Nissin Corporation
<https://adnissin.jp/en>



As Japan faces depopulation and a shrinking workforce, the role of digital infrastructure has never been more urgent. Ad-Sol Nissin Corporation is meeting this challenge with Geographic Information System (GIS) solutions designed to help cities adapt and thrive.

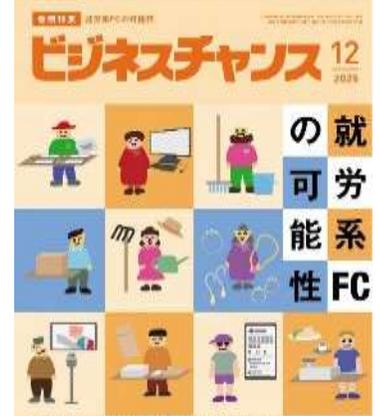
Rooted in nearly 50 years of ICT experience, Ad-Sol Nissin's GIS technology is already being deployed in disaster prevention systems, urban redevelopment projects, among other areas across the country. In Tokyo's Omori district, the company is participating in Walkable Smart City projects under the Smart Tokyo initiative to create more efficient and connected urban spaces.

"We provide solutions based on our proprietary Geographic Information System technology to contribute to smart cities, including efficient use of renewable energy and disaster prevention and preparedness," President Toshiaki Shinozaki says.

Collaborative efforts with universities and municipalities, like those in Yokohama and Utsunomiya, show how public-private partnerships can accelerate innovation at the community level. The company's DOCOWA, an area marketing solution, supports regional revitalization and the enhancement of public services through its provision to transportation and tourism companies.

The company's efforts align closely with Japan's national priorities, around regional revitalization and sustainable growth. By offering tools that support smarter planning and civic resilience, Ad-Sol Nissin is helping local governments face the future with data-backed confidence. Ad-Sol Nissin's long-term goal is clear: to use technology not for its own sake, but to make cities safer, smarter and more livable.

1. This project is part of a joint research initiative with Keio University.
2. The collaboration in Yokohama is part of a joint research initiative with Keio University, while the Utsunomiya collaboration is part of a joint research initiative with Waseda University.



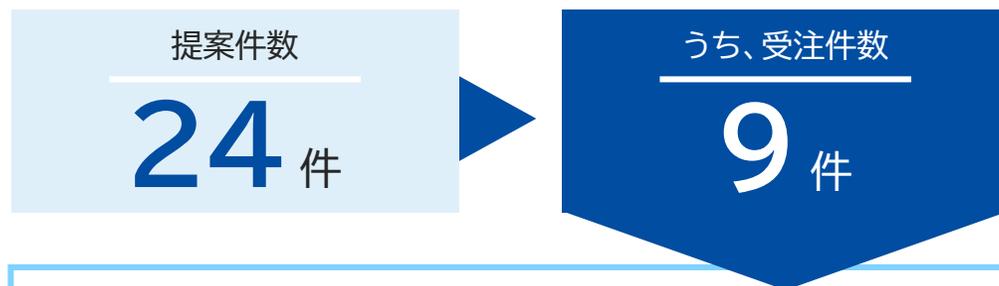
ビジネスチャンス
2025年12月号

業務変革ソリューション LeapX(リープクロス)シリーズ 計画通り進捗

テクノロジーを味方に
さらなる飛躍へ



● 2026年3月期 第2四半期(中間期) LeapXシリーズ 実績



受注件数 ソリューション内訳



主な対応事例※



顧客カテゴリ	26/3 売上高
社会インフラ企業	8,000万円
基幹システムの老朽化に伴う改修をハイブリッドアジャイルで開発	



顧客カテゴリ	26/3 売上高
社会インフラ企業	1.4億円
複数システムのクラウド移行を環境構築から導入までトータルで対応	



顧客カテゴリ	26/3 売上高
クレジットカード	1,600万円
商品販売状況のKPI管理に向けたデータ抽出・分析・ダッシュボード作成	

※ 売上高は、2026年3月期下期計上見込み分を含む

アジャイル開発需要を捉え、AgileLeap(アジャイルリープ)の導入拡大へ

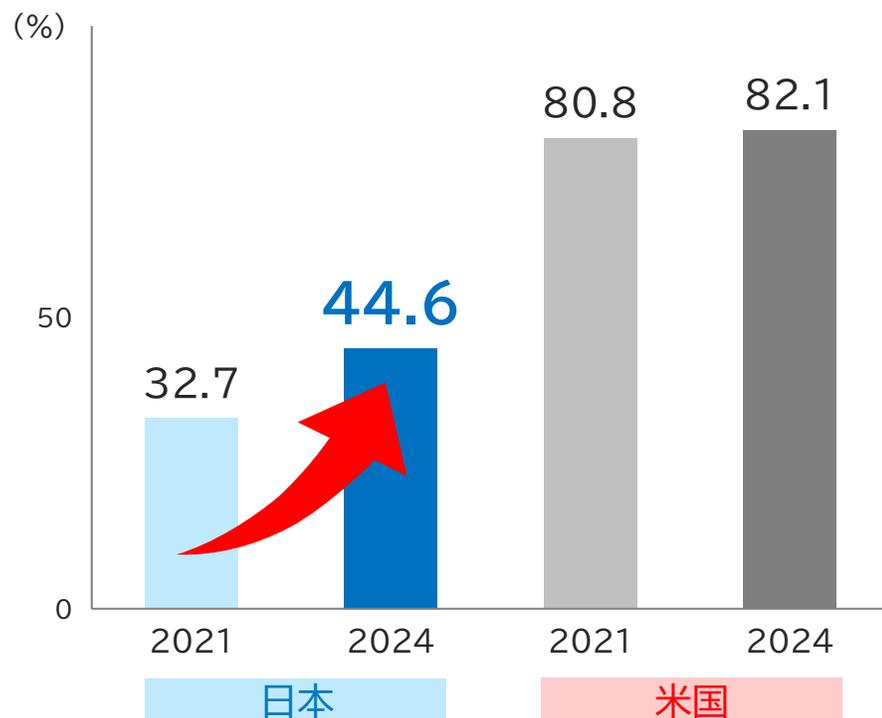
市場環境

- ・ 米国のアジャイル開発導入率は約8割
- ・ 日本でも導入が加速中

アジャイル開発 主な導入障壁

- ・ 要件定義や予算承認プロセスにおける慣習
- ・ ウォーターフォールに基づく品質管理が主流

● IT部門におけるアジャイル開発の導入率



出典：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)「DX白書2021」「DX動向2025」



ウォーターフォールとアジャイルのメリットを掛け合わせた
ハイブリッドアジャイル開発の提案を強化

アドソル日進の強み

両開発モデルでの豊富な実績に基づき
お客様の状況や目標に合わせたハイブリッド開発を提案

← ハイブリッドアジャイル開発 →

ウォーターフォール
- 計画性 -

アジャイル
- 柔軟性 -

TOPICS

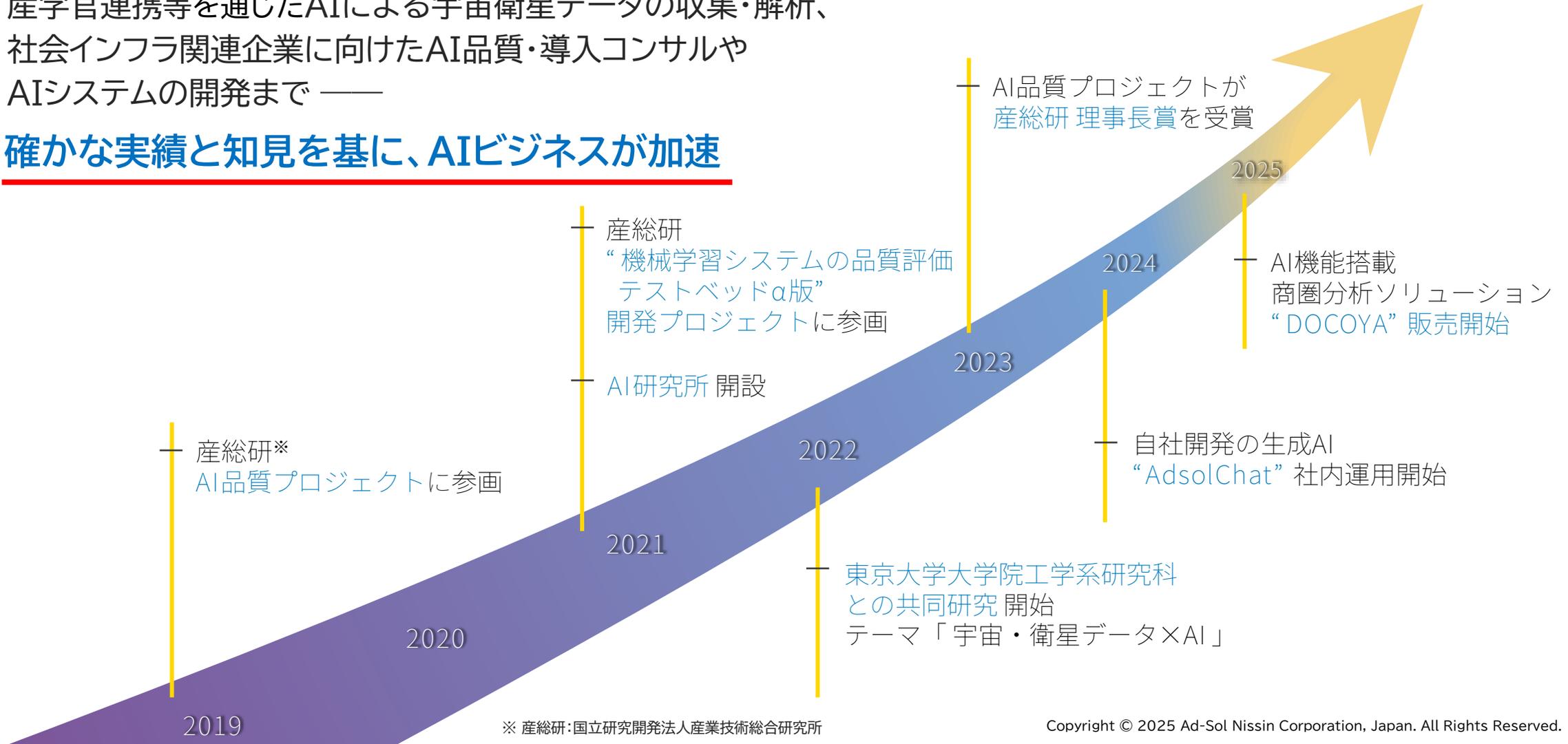
2027年3月期 100名体制へ

アジャイル技術者(スクラムマスター/開発エンジニア)の育成を強化

AIを信頼できるパートナーに - アドソル日進のあゆみ -

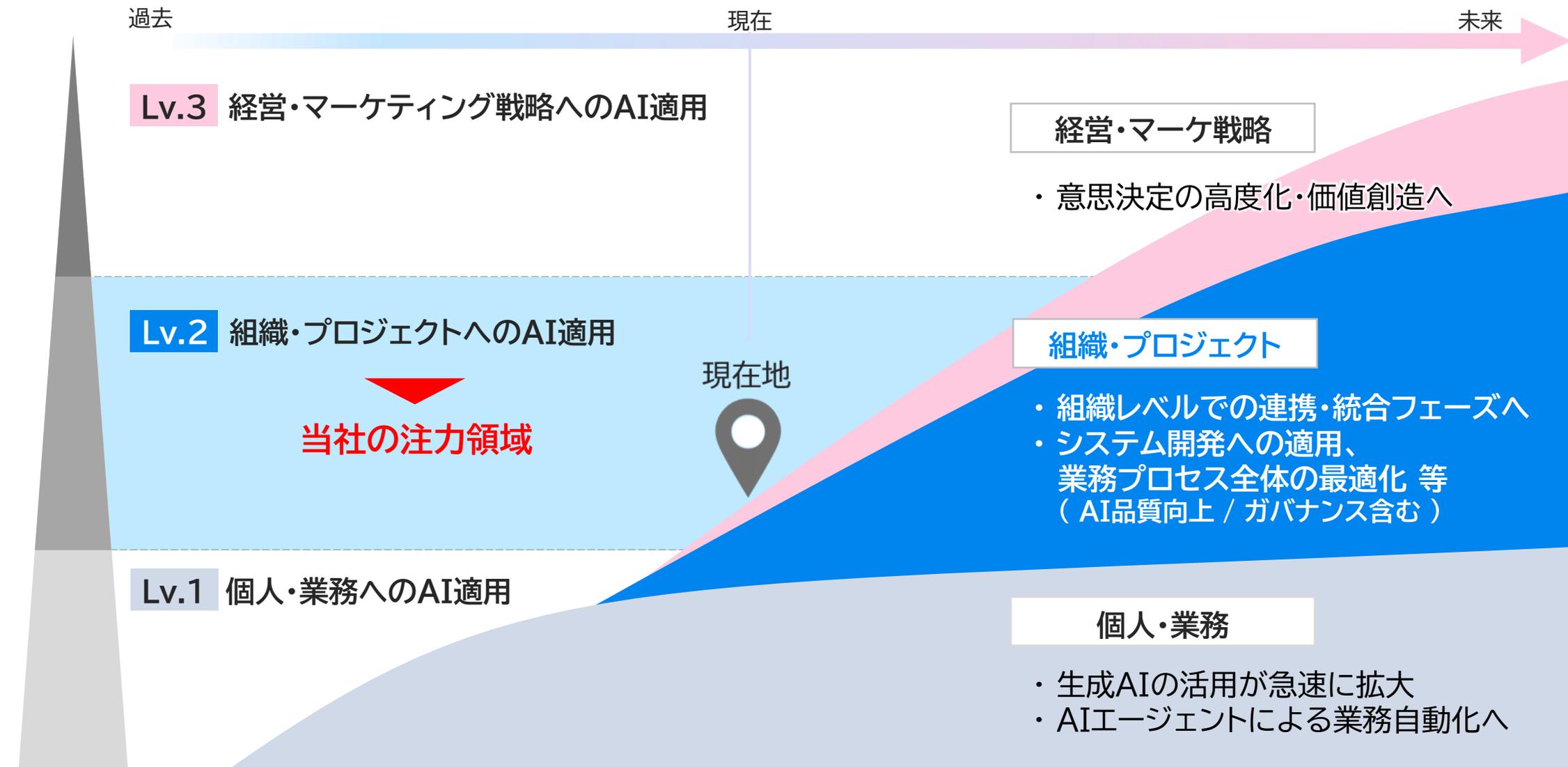
産学官連携等を通じたAIによる宇宙衛星データの収集・解析、
社会インフラ関連企業に向けたAI品質・導入コンサルや
AIシステムの開発まで ——

確かな実績と知見を基に、AIビジネスが加速



※ 産総研:国立研究開発法人産業技術総合研究所

● AIの適用レベルと進捗（イメージ）



AI品質・導入に係るコンサルティングやAIシステムの開発の引き合いが増加

● 26/3期 主な対応事例※1



顧客カテゴリ

IT企業

26/3 売上高

9,000万円

対応領域

AIシステム開発 / コンサルティング

問合せ対応を効率化するAIシステムの構築、
AI品質に関するコンサルティング



顧客カテゴリ

金融

26/3 売上高

8,600万円

対応領域

AIシステム開発

融資を行う際の審査観点を提示する
AIシステムの開発



 **アドソル日進**

対応領域

AIシステム開発

独自の生成AI(AdsolChat)への
Code Interpreter※2の組み込み対応

※1 売上高は、2026年3月期下期計上見込み分を含む

※2 Code Interpreter:自動でPythonコードを生成し、処理する機能。生成AIに組み込むことで、手作業で指示コードを書かなくても、データ分析などを行うことが可能になる。

AI活用の新たな扉を開く

AIの導入・拡張によるビジネスやサービスの革新へ

豊富な実績に基づき、導入フェーズにあわせて

最適な **Aidea** -アイデア- を **+** -プラス- します



+Aidea
プラスアイデア

サービス
メニュー

+ AI導入ナビ

- AIツール導入支援
- 機械学習・運用管理
- AI入門サポート

+ AI品質ガイド

- ガイドライン作成
- インサイドモニター

+ AIソリューション

- 社内AX (AI Transformation)
- ナレッジ検索
- 商圏分析
- 画像検索

04

2026年3月期 業績予想・配当予想

3期連続 最高業績（売上高・利益）達成に向けて

- ・「デジタル」「AI」をキーワードに、DX・デジタル化対応が継続
- ・AI対応・ソリューション開発等の戦略投資に加え、
来期以降の成長を見据えた人材投資(処遇・育成)を予定通り実施予定

(単位:百万円)	25/3 (実績)	期初予想 (2025年5月公表)	修正予想 (2025年10月公表)	修正予想 前年比増減額	修正予想 前年比増減率(%)
売上高	15,463	16,400	17,100	1,636	10.6
営業利益	1,710	1,900	2,100	389	22.7
営業利益率(%)	11.1	11.6	12.3	1.2P	-
経常利益	1,766	1,950	2,160	393	22.3
経常利益率(%)	11.4	11.9	12.6	1.2P	-
当期純利益	1,209	1,260	1,400	190	15.7
当期純利益率(%)	7.8	7.7	8.2	0.4P	-
年間配当金(円)	30	37	41	11	-

※ 2025年3月期の年間配当金額は株式分割を考慮した額を記載しています。



アドソル日進 会社概要

Company Profile-会社概要-

社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	東京都港区港南4丁目1番8号 リバージュ品川
拠点	大阪、福岡、名古屋、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役社長 篠崎 俊明
従業員数	連結 676名(2025年4月1日現在)
売上高	154.6億円(2025年3月期)
上場市場	東証プライム 3837
発行済株式数	17,889,930株 (2025年9月30日現在)
子会社	<ul style="list-style-type: none">・アドソル・アジア(株) (オフショア開発拠点:ベトナム)・Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)

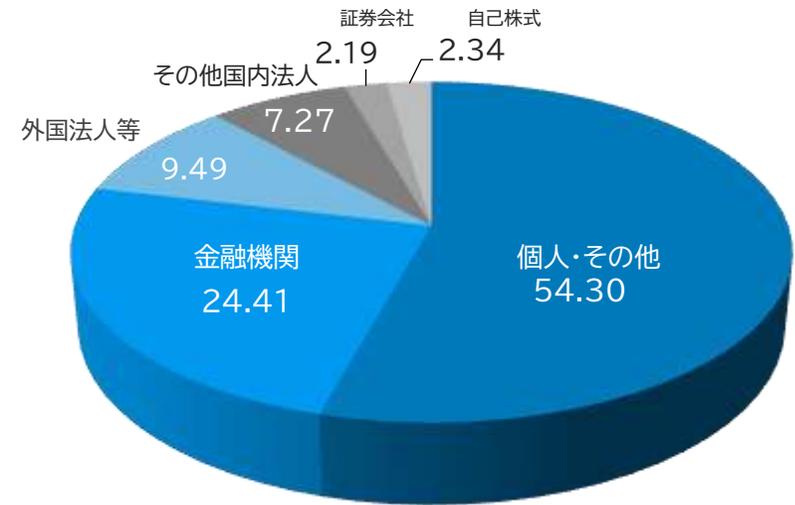
Our Mission -私たちの使命-

Corporate Philosophy -企業理念-

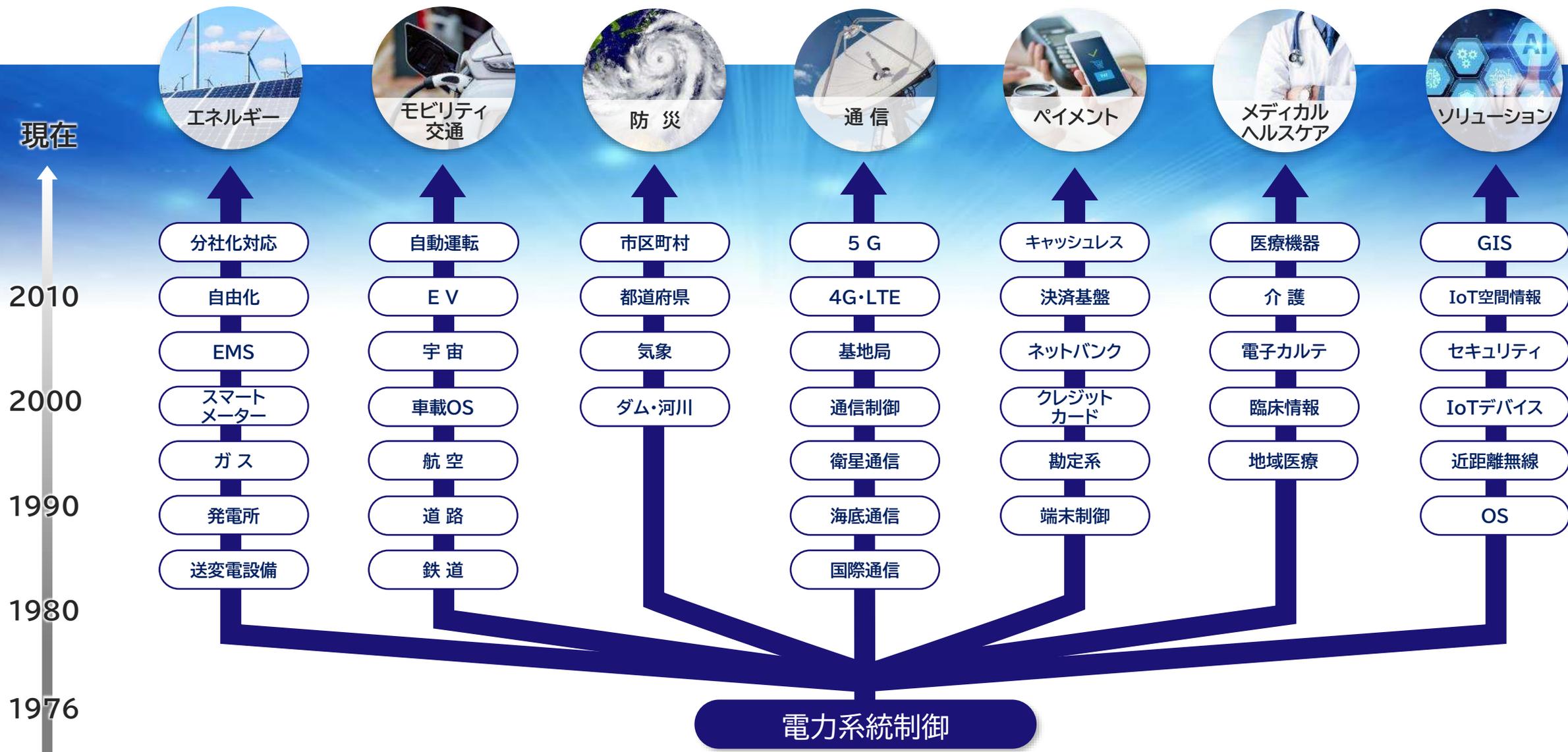
私たち アドソル日進は
高付加価値サービスの創造・提供を通じて
お客様の満足と豊かな社会の発展に貢献します

株式保有割合 (%)

(2025年9月30日現在)



事業領域の拡大と進化



グローバル展開

米国～アジア～日本をつなぎ、グローバル・ネットワークで最先端DXソリューションを提供します。



★ Lynx Software Technologies

2024年10月

九州支社を拡張移転・リニューアル



ホーチミン



★ Individual Systems

ダナン



★ United Technologies Corporation
★ Techzen

ハノイ



★ 3S Intersoft JSC

市場成長性・ニーズ

これから活用が進む情報
(オルタナティブデータ)

- ・宇宙・衛星データ、気象情報
- ・交通・人流データ
- ・機器稼働データ(IoTデータ)等

グリーン成長戦略



【カーボンニュートラル】

成長事業 ①

【次世代エネルギー】
次世代デジタルエネルギーシステムを通じた新・バリューチェーン、安定供給、レジリエントへの貢献

7 再生可能エネルギー 9 産業と資源効率 13 気候変動対策

AI Data Analysis GIS Edge computing IoT Digital twin

【スマートシティ】

従来使われてきた情報
(トラディショナルデータ)

- ・財務データ
- ・株式データ
- ・統計データ(国・自治体)
- ・報道、企業開示 等

成長事業 ②

【スマートインフラ/ライフ】
まちのデジタル化(都市OS)、デジタルデータでつながりひろがる暮らし、コミュニケーションへの貢献

3 健全な社会 9 産業と資源効率 11 持続可能な都市とコミュニティ 15 陸域生態系保護

Edge computing GIS Data Analysis AI Business intelligence Digital twin

デジタル成長戦略

ベースロード

【エンタープライズ DX/モダナイゼーション】
企業の業務効率化、ビジネス変革への貢献

9 産業と資源効率 13 気候変動対策

Edge computing IoT GIS Business intelligence Digital twin

既存の領域・技術
(社会インフラ事業、先進インダストリー事業)

事業収益性

新たな柱となるビジネスへの挑戦

NEW

需要家向け 新ビジネスへの挑戦・新プレイヤーとの共創 マイクログリッド／エネルギーマネジメント



スマートシティ



ショッピングモール



データセンター



工場

POINT

アライアンス／コンサルティング

分析・マネジメント

大手エネルギー会社向け 既存エネルギーインフラ次世代化

POINT

広域系統 次世代化対応

(設備、地域間電力融通、再エネマネジメント等)

発電

送配電

小売

POINT

データ利活用・新サービス

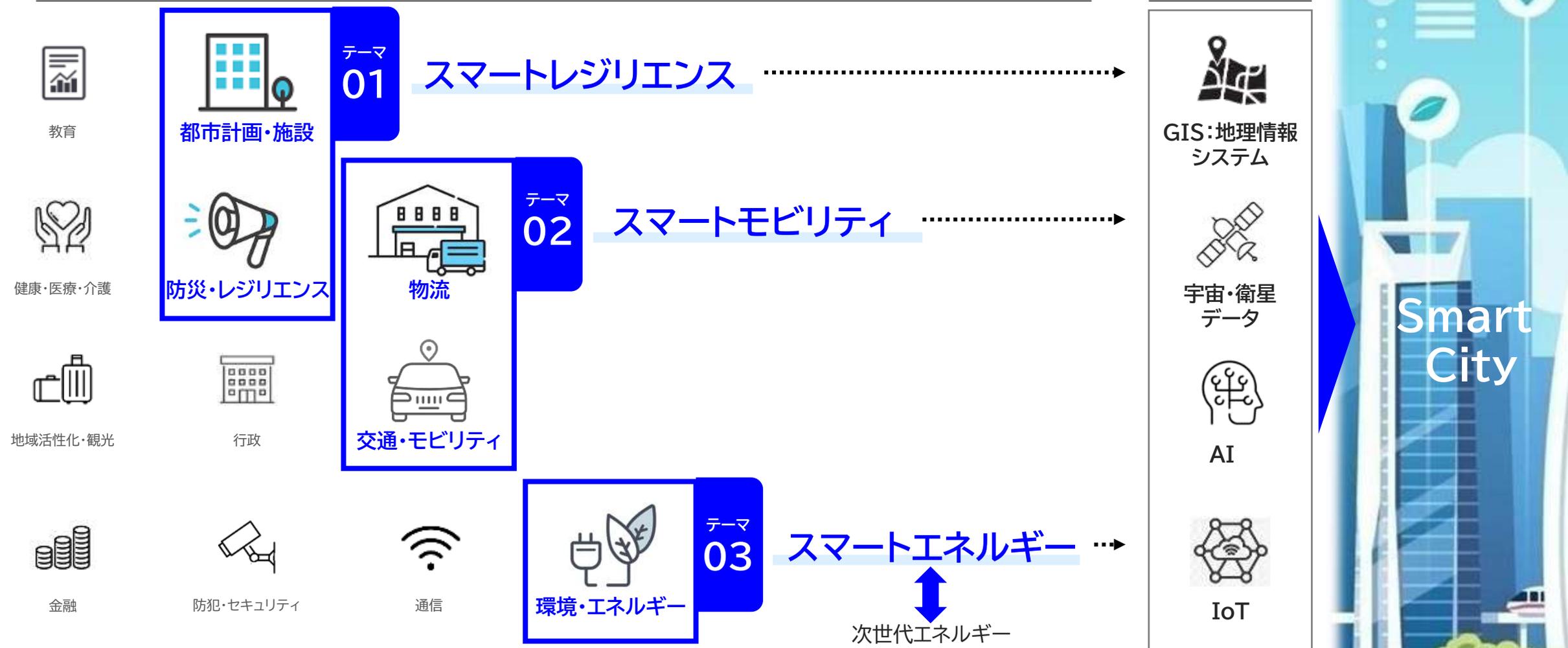
(スマートメーター等)

使用・利用

エネルギーバリューチェーン

スマートシティのインフラを担う3テーマに集中

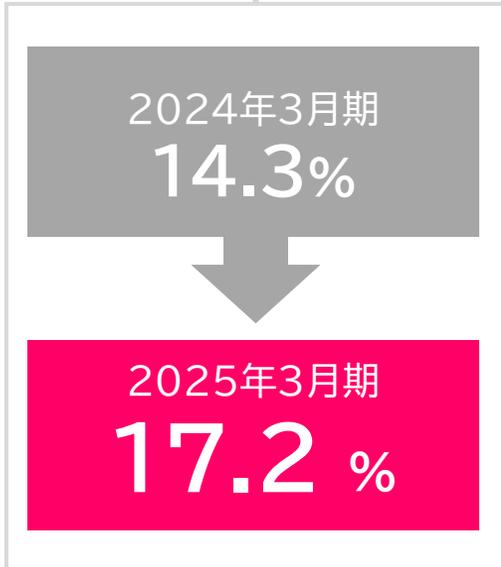
「スマートシティ」全体のテーマ(当社作成)と当社が注力するテーマ



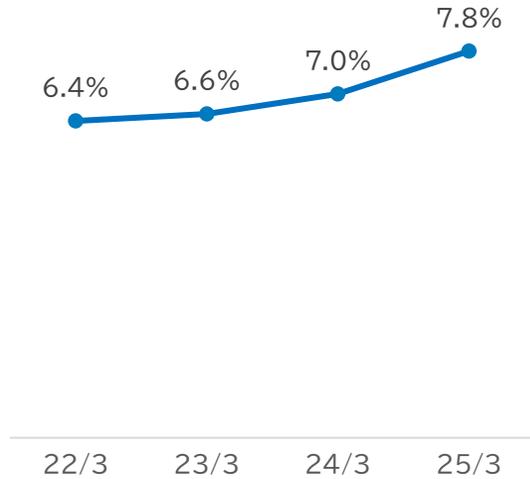
「2029年3月期：ROE 22%」達成に向けて、各指標の上昇に向けた施策を推進

— アドソル独自のROE分解式 —

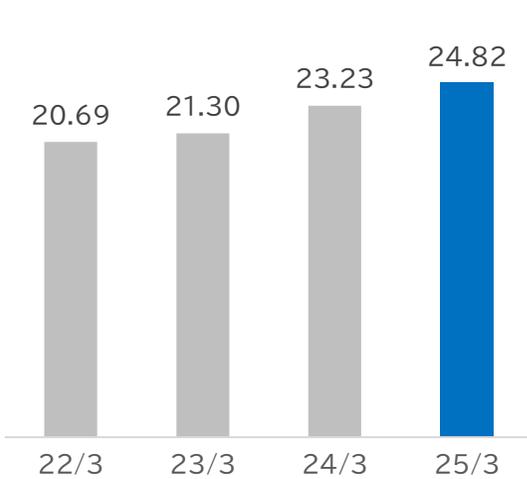
$$ROE = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{従業員数}} \times \frac{\text{従業員数}}{\text{自己資本※}}$$



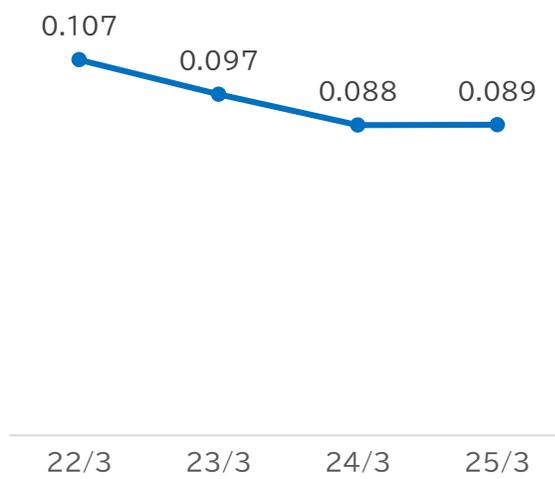
売上高当期純利益率 (%)



一人当たり売上高 (百万円)



人的資本レバレッジ (倍)



売上高・利益率のさらなる向上を目指す

人的資本レバレッジを活用した
価値向上策を継続検討

※ 期中平均自己資本

Point

01 サンノゼR&Dセンター



米国・シリコンバレーで最先端R&D

当社社員と米国エンジニアが連携し、最新テクノロジーの調査・研究を推進

IoTセキュリティのグローバルHQ

IoTセキュリティソリューション等、最先端テクノロジーの研究開発と技術力強化に注力。日本国内のメーカーやインフラ企業への展開を全面的にバックアップ

Point

02 AI研究所



DXをAI技術から牽引するAI研究所

「先進AIテクノロジーの研究」「AIシステム構築の研究」「AI人材育成」などに注力

最先端のAI研究活動

国立研究開発法人：産業技術総合研究所のAI品質向上プロジェクト。
東京大学と宇宙IT人材育成や宇宙イノベーションを目的に「宇宙・衛星データ利活用」関連の共同研究と新講座の両面で、全面的にサポート

Point

03 産学連携



イノベーションと新テクノロジーの創出

産学連携・共同研究や学会活動等を通じて豊かな社会の発展に貢献

- 東京大学 : 宇宙・衛星データ利活用
- 早稲田大学 : EMS (エネルギー
マネジメントシステム)
- 慶応義塾大学 : GIS (地理情報システム)
- 立命館大学 : IoT、サイバーセキュリティ
- ダナン大学 : スマート大学の実現

Point

04 特許



独自技術の特許化を推進

「IoT空間情報」「地図情報」「セキュリティ」

競争優位性の強化・拡充に向け、取得した新技術や蓄積したノウハウなど、独自技術の知的財産化を推進

当社の「AI研究所」を中心に、AI技術力の強化・ビジネス展開を推進

東京大学大学院工学系研究科
宇宙・衛星データ × AI をテーマに共同研究



● 共同研究概要

- 東京大学大学院工学系研究科の「実践宇宙データ活用」講義にAI・IoTの知見を活かして2022年度より協力
- 生成AIをはじめとする最新テクノロジーの解説に加え、「PBL:課題解決型学習」を通じた講義を提供



▲ 2025年7月2日 ジオ展2025に出展



宇宙データ探求塾 開催

2025年7月25～26日

宇宙ビジネス共創プラットフォームクロスユーにて開催

主に高校生を対象とした衛星データの利活用体験プログラム
講義・ワークショップを通じて「宇宙IT人材」の育成に貢献



▲ 2025年7月25～26日 宇宙探求塾を開催

ソリューション一覧

GIS 地理情報システム	 COCOYA	店舗情報マッピングサービス
	 DOCOYA	AI機能搭載・SaaS型 商圈分析ソリューション
	ArcGIS	政府・官公庁、大学、研究機関などでも利用される高度な分析やシミュレーション
	 mapbox	ビジュアライゼーションに優れたデジタル地図の開発プラットフォーム
IoT空間情報	 uLocation	デジタルデータ利活用で工場・倉庫などの現場管理
	 uSIGMA	屋内・屋外の位置情報をシームレスに見える化
セキュリティ	 SECURITY	「安心・安全」を実現するセキュリティ高度化支援サービス
企業変革ソリューション LeapX	 AgileLeap	DXによるビジネス変革と素早い価値提供に貢献
	 CloudLeap	クラウド上に持続可能かつ効率的なITシステムを構築
	 DxDLeap	データドリブンによるビジネス変革の迅速化・高度化を支援
AI	 +Aldea プラスアイデア	AI活用に安心と信頼を一 AIコンサルティング & エンジニアリングサービス

- ・本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- ・また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- ・なお、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先



URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川
経営企画室 広報・IR担当 (ir@adniss.jp)